

報 告 第 1 号

高知国際高等学校の国際バカロレアDP認定について

高知国際高等学校の国際バカロレアDP認定について、別添のとおりご報告
します。

高知国際高等学校の国際バカロレアDP認定について

高知県教育委員会事務局高等学校振興課

1 高知国際高等学校の国際バカロレアDP認定

高知国際高等学校は、令和3年4月に開校する予定で、1年次の11月からDP（Diploma Programme ディプロマ・プログラム）を開始するように準備を進めている。DPを円滑に進めるために、開校前にDP認定を受けるようにこれまで手続きを進めてきた。この度、令和3年1月11日付けで国際バカロレア機構（International Baccalaureate Organization）のDP認定校として認定された。また、平成30年4月に開校した高知国際中学校は、令和2年11月3日にMYP（Middle Years Programme ミドル・イヤーズ・プログラム）認定校となっている。

高知国際高等学校は、国公立高等学校では中四国・九州で初めてのDP認定校となる。中高一貫教育校としてMYP認定、DP認定ともに認定を受けるのは日本の国公立学校で3校目（国内19校目）となる。なお、国際バカロレアの認定を受けている学校は、世界158以上の国・地域において約5,000校ある（令和2年11月30日時点：文部科学省IB教育推進コンソーシアムHPより）。国内のDP認定校は56校（うち国公立学校10校）、MYP認定校は23校（うち国公立学校5校）で世界共通の教育プログラムを実施している（令和3年1月13日高等学校振興課調べ）。

2 国際バカロレア（以下、IB）導入の目的

高知県では、平成21年に「高知県教育振興基本計画」を策定し、「グローバルな視点を持ち、高い志を掲げ、産業・経済や地域福祉、さらには文化、コミュニティーなど多くの分野で地域の将来を担う人材」を育てることを目標としており、このことは国際バカロレアの理念と一致するものである。少子高齢化や過疎化、産業振興など地方の課題解決のために活躍できる人材、地方においてもグローバル化が進む中でグローバルな視点に立って考え行動し、様々な文化背景を持つ人たちと対等に渡り合える人材が求められており、国際バカロレア教育はその育成に適している。住んでいる地域や、保護者の経済状況に因らず、国際バカロレア教育などの教育を受ける新たな選択肢を設ける必要がある。

3 高知国際中学校・高等学校のMYP認定・DP認定までの経緯

日時		MYP	DP
H26年度	県立高等学校再編振興計画「前期実施計画」で統合の決定		
H30年度	高知国際中学校開校	MYP 候補校申請（4月1日） MYP 候補校認定（9月1日）	
R元年度		MYP 認定校申請（2月15日）	DP 候補校申請（4月1日） DP 候補校認定（9月1日）
R2年度		MYP 確認訪問（9月17日、18日） MYP 認定校認定（11月3日）	DP 認定校申請（9月24日） DP 確認訪問（12月15、16日） DP 認定校認定（令和3年1月11日）
R3年度	高知国際高等学校開校		
R5年度	統合完了		

4 高知国際中学校・高等学校について

県立高等学校再編振興計画「前期実施計画」に基づいて、高知南中学校・高等学校と高知西高等学校の統合を決定した。新たな中高一貫教育校である高知国際中学校・高等学校は、グローバル教育を教育活動の柱に位置づけ、自ら課題を発見し判断する探究型学習や高度な英語運用能力を養う教育活動を実施するとともに、国際バカロレア教育を導入し、地域や国際社会の発展に貢献するグローバル人材の育成に取り組んでいる。

○教育目標

「グローバル社会で求められる高い志、資質・能力を育む」

○学科

普通科とグローバル科があり、1年次からグローバル科は探究コース、DP（ディプロマ・プログラム）コースに分かれて学習を行う。



School code: 060890

11 January 2021

Taminosuke Morimoto
Head of school
Kochi Prefectural Kochi Kokusai Junior and Senior High School
2-5-70 Kamobe Kochi,
Kochi 780-8052 Japan

Dear Taminosuke Morimoto,

On behalf of the International Baccalaureate Organization (IB), it is my privilege to inform you that Kochi Prefectural Kochi Kokusai Junior and Senior High School is now an authorized IB World School for the Diploma Programme. Congratulations to you and your colleagues on this considerable accomplishment.

The school will now be added as an authorized school for the Diploma Programme on the IB public website, including the name and contact information for the Diploma Programme Coordinator.

As an IB World School offering the Diploma Programme, you are part of a global community of schools committed to developing knowledgeable, caring young people who will be ready to negotiate their futures successfully and make contributions resulting in a more harmonious and peaceful world. We commend your school's educators, administrators, students and families for their active roles in choosing to offer the Diploma Programme. The positive results of this choice will become evident in your community as classes of Diploma Programme students graduate and undertake activities that enhance social, cultural and economic environments locally, nationally and, perhaps, internationally.

The IB is committed to the professional development of teachers and looks forward to welcoming your school's Diploma Programme faculty members into the IB community of educators, where they will find collaborators and a dynamic global network of professionals committed to best practices in teaching students and in sharing those practices with each other. We invite you and your faculty to make your own contributions as an active member of this community.

Within the next month a member of the IB World Schools team, who will serve as your school's ongoing relationship manager, will contact your programme coordinator to introduce him or herself.

Best wishes as you embark on your journey with the Diploma Programme. We look forward to working closely with you to realize our shared vision of a better and more peaceful world, achieved through intercultural understanding and respect.

Sincerely yours,



※署名のため非開示としています。

Siva Kumari
Director General

国際バカロレアについて

出典：文部科学省 I B 教育推進コンソーシアムより

国際バカロレア (IB) とは

- 国際バカロレア機構が提供する国際的な教育プログラム。**課題論文、批判的思考の探究等の特色的なカリキュラム、双方向・協働型授業**により、**グローバル化に対応した素養・能力を育成**。世界158以上の国・地域、約5000校で実施(2020年6月時点)。
- 国際バカロレアの理念及び教育カリキュラムと、日本の教育政策の方向性は親和性が高い。

学習指導要領が目指す資質・能力

国際バカロレアの学習者像

- ① 生きて働く「知識・技能」の習得
- ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成
- ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養

探究する人／知識のある人／考える人／コミュニケーションができる人／信念をもつ人／心を開く人／思いやりのある人／挑戦する人／バランスのとれた人／振り返りができる人

国際バカロレア推進の意義

- 高校レベルのディプロマ・プログラム(DP)は、**国際的に通用する大学入学資格 (IB資格)** が取得可能であり、世界の大学入学者選抜で広く活用。
- 幼稚園、小学校、中学校レベルのプライマリー・イヤーズ・プログラム(PYP)、ミドル・イヤーズ・プログラム(MYP)を含め、我が国の**グローバル人材育成**等に資する。

意義

- ① グローバル人材の育成に有効な手法 (課題発見・解決能力、論理的思考力、コミュニケーション能力など)
- ② 国際通用性 → 高校卒業から海外大学にも直接入学する選択肢の拡大
- ③ 特色的なカリキュラム、双方向型授業 → 初等中等教育の好事例
- ④ 国内外の優秀人材の獲得 → 大学の国際化、活性化

政府の方針

国際バカロレア認定校等を2022年度までに200校以上

成長戦略2020(令和2年7月閣議決定)

※認定校・候補校は2020年6月時点(計159校)

PYP:認定校43校 候補校17校 MYP:認定校19校 候補校16校

DP:認定校51校 候補校13校

ミドル・イヤーズ・プログラム(MYP)について

出典：文部科学省 I B 教育推進コンソーシアムより

MYPにおけるカリキュラムの特徴

MYPは、11歳から16歳の生徒を対象に、やりがいのある学習活動を提供し、生活スキルを育成する、一貫的かつ包括的なカリキュラムを構築していくことが求められている。

<IB の理念に基づく MYP の基本概念>

1. 包括的学習 (Holistic learning)
すべての知識が相互に関連し合っているという認識に基づく学習
2. 多文化理解 (Intercultural understanding)
学校全体(生徒、保護者、教師、職員)が自分の文化と他の文化を尊重することが国際的視野を育むという認識をもつことにつながる
3. コミュニケーション (Communication)
開かれた効果的なコミュニケーションの重要性の認識とスキルの習得



MYPの教科群	
言語の習得	数学
言語と文学	芸術
個人と社会	保健体育
理科	デザイン
パーソナルプロジェクト	
MYP 最終学年に取り組む学際的な集大成の個人による学習プロジェクト	
コミュニティプロジェクト	
コミュニティに対する奉仕活動を通じた行動を伴う学習	

MYPにおけるグローバルな文脈

MYPにおける基本概念をもとに生徒が学習する内容と実社会とを結びつける役割をする6つのグローバルな文脈がある

1. アイデンティティと関係性
2. 空間的・時間的位置づけ
3. 個人的表現と文化的表現
4. 科学技術の革新
5. グローバル化と持続可能性
6. 公平性と発展

MYPでは、世界を「最大の学びの文脈」として捉えている。MYPでのグローバルな文脈に根ざした学習は、関係性や複雑さがますます増大する世界において、創造的な解決策と理解力を発展させ、有意義な挑戦の多面性を模索する機会を与えてくれる。

ディプロマ・プログラム(DP)について

出典：文部科学省IB教育推進コンソーシアムより

DPにおけるカリキュラムの特徴

DPは16歳から19歳までを対象としており、所定のカリキュラムを2年間履修し、最終試験を経て所定の成績を収めると、国際的に認められる大学入学資格(国際バカロリア資格)が得られる。DPのカリキュラムは3つのコアに6つのグループで構成されている。各グループから1科目ずつを選択し、計6科目を2年間で履修することが必須である。また、日本語DPによる場合は、6科目中2科目(通常、グループ2「外国語」に加えて更に1科目)は、英語等で履修する必要がある。

* **赤字**は日本語DP対象科目

	概要
課題論文 Extended Essay (EE)	学習している科目に関連した研究課題を設定して自ら調査・研究を行い、論文(約8000字)としてまとめる
知の理論 Theory of Knowledge (TOK)	学際的な観点から個々の学問分野の知識体系を吟味し、理性的な考え方と客観的精神を養う。さらに、言語・文化・伝統の多様性を認識し国際理解を深めて偏見や偏狭な考え方を正し、論理的思考力を育成する。
創造・活動・奉仕 Creativity, Activity, Service (CAS)	教室以外の広い社会で経験を積み、様々な人と共同作業することにより、協調性、思いやり、実践の大切さを学ぶ。
グループ名	
1. 言語と文学(※外国語に相当)	言語A: 文学、言語A: 言語と文学、文学と演劇
2. 言語と習得(※外国語に相当)	初級言語、言語B(標準レベルおよび上級レベル)
3. 個人と社会	ビジネスと経営、 経済、地理、歴史 、情報テクノロジーとグローバル社会、哲学、心理学、社会・文化人類学、世界の宗教(標準レベルのみ)、グローバル政治
4. 理科	生物 、コンピューター科学、 化学 、デザインテクノロジー、 物理 、スポーツ・エクササイズ・健康科学(標準レベルのみ)
5. 数学	数学: 応用と解釈、数学: 解析とアプローチ
6. 芸術	ダンス、音楽、フィルム、演劇、美術

国公立学校におけるIB認定校の状況（令和2年1月1日現在 高等学校振興課調べ）

参考資料 6

